

運用スタート後も視界良好の個人向け「リスク低減型ファンド」 金融危機にも揺るがない 注目ファンドの実力を探る

その卓越した運用能力で数々の受賞歴をもつ凄腕ファンドマネージャー竹村尚子氏が、「相場の下落局面でも、リターンが狙える」画期的な「ムーンライト・エイドスファンド(愛称アマテラス)」をリリース。同ファンドの商品性と運用開始後のパフォーマンス、今後の展望について竹村氏のオフィスで話をうかがった。(聞き手・マネーライター中津川あき子)



竹村尚子氏

ムーンライトキャピタル株式会社 代表取締役社長

大阪大学経済学部卒。米国の民間最大手年金基金であるTIAA-CREFで初の非米国籍のファンドマネージャーとして3000億円の運用を担当。野村證券グループ、ボウエンキャピタルマネジメントにてオフショア日本株ファンドを担当し、1998年及び1997年から2001年の5年間で日本株ファンドのパフォーマンス第1位となり、S&Pより表彰される。2001年にForbes「世界のファンドマネージャートップ20」の一人に、また2009-2010年度の国際著名人年鑑「International WHO'S WHO of Professionals」の一人に選出される。



1998年
スタンダード
&プアーズ
オフショア
日本株部門
1位



2002年
スタンダード
&プアーズ
オフショア
日本株部門
1位



Forbes
「世界の
ファンド
マネージャ
トップ20」

適した3つの運用システムを組み合わせて、増やすというよりも減らさないことを重視し、リスク低減を図っております。国内の短期公社債および日本国内の日経225先物・オプションで運用するため、昨今の世界情勢において懸念される為替リスクを気にする必要はなく、解約時点での為替差損の心配もありません。運用においては、上げ相場・下げ相場、いかなる状況でも安定的にリターンが得られるスキームを確立しています。稀に、有効な対策が存在しない「異常な相場」では売買が自動的に抑制され、リスクをコントロールする仕組み

になっています。荒れた海には近寄らない。リスク管理を徹底することで、次の投資チャンスに備えるわけです。そして、もうひとつの特徴が「原則、宵越しのリスクを取らない」こと。デイトレーダーの方はご存知だと思いますが、実は長期保有よりも日計りのほうがリスクを抑えられるケースが多いのです。日本の株式市場は、海外の要因の影響にも左右されます。当ファンドは夜間に異変が起きることを想定して、リスクを最小限に抑えるため日々のポジションを決済しています。日計り運用なので、いつでも好きなタイミングで解約いただけます。解約手数料はゼロ。信託報酬は、運用実績に応じて支払う「成果報酬」型です。私たちは、常にお客様と同じ目線で投資を考え、ともに利益を積み上げていきたいと考えています。

さらに、販売手数料も0円。販社であるイニシア・スター証券さんからは、「せっかく顧客本位の商品設計をさ

運用を目指すことがテーマになっていきます。「ムーンライト・エイドスファンド(愛称アマテラス)」で活用されるエイドス・モデルは、様々な相場変動のストレステストを乗り越えてきました。例えば、国内外のファンドが大きく値を下げた08年9月のリーマンショック時にもプラスに転じ、その後も順調にリターンを積み上げてきました。

平成22年2月2日より当ファンドの運用がスタートしましたが、きわめて順調な滑り出しといえるでしょう。2月19日現在の基準価額は10056円。日経平均の値下がり、値上がりにより左右されず、着実にリターンをあげています。リターン目標は年間10%以上を目指すと予定。堅実に収益を狙う、従来にない画期的な運用手法によるファンドだと自負しています。日々の相場変動にも揺るがない安定運用を、ぜひ皆様に実感していただきたいですね。

新ファンド開発の目的、投資対象を教えてください

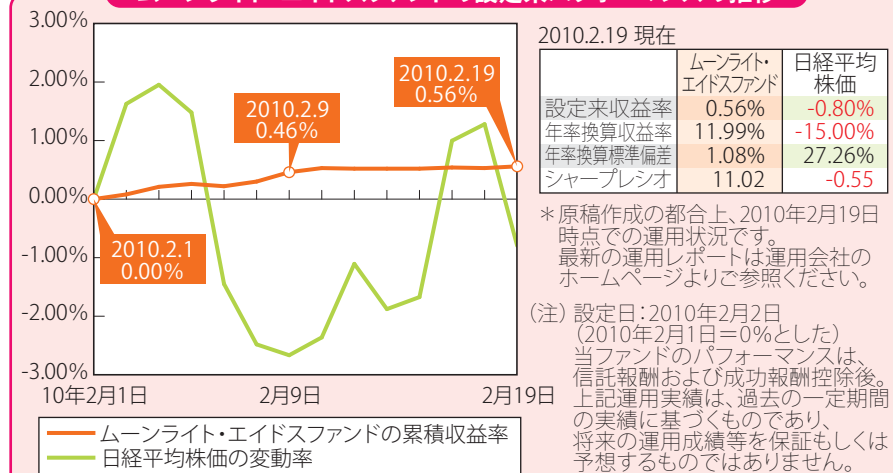
「今は一時的に下がっているだけ」購入した株や投資信託が目減りすると、たいいていの人はそう思いがちです。しかし、一度下がったファンドの基準価額が短期間で戻るケースは稀。その証拠に、08年のリーマンショック以降、株式市場は世界規模で低迷しています。持ち続ければ何とかなる時代はとくに終わっているのです。今求められているのは、「どんな相場状況でも減らさないことを目指す」ファンドではないでしょうか。私たちが開発した運用手法「エイドス・モデル」は、まさにこの「減らさない」

運用を目指すことがテーマになっていきます。

「ムーンライト・エイドスファンド(愛称アマテラス)」で活用されるエイドス・モデルは、様々な相場変動のストレステストを乗り越えてきました。例えば、国内外のファンドが大きく値を下げた08年9月のリーマンショック時にもプラスに転じ、その後も順調にリターンを積み上げてきました。



ムーンライト・エイドスファンドの設定来パフォーマンスの推移



具体的な運用手法、商品性を教えてください

当ファンドはシステムトレードモデルで運用しています。過去約20年間の膨大な相場データを駆使し、18種類の運用システムから、統括システムが、その日の相場に最も

運用開始後のファンドの状況はいかがでしょう?

れているのに、販売会社が最初から手数料を多く頂いてしまったら、出し入れの度に手取りのお金が減ってしまい、ファンド自体の流動性をそこなうことになるので」という説明がありました。ファンドにかかわる全ての存在がwin-winの関係といえます。